

歴史と自然の魅力あふれるまち 小樽

小樽の景観

小樽には、先人の豊かな感性とたゆみない努力によって築き上げられた独自の文化や歴史、港湾都市としての魅力ある雰囲気などの財産があります。これらは、天与の恵まれた海・山・坂とともに、変化に富んだ四季の移り変わりの中で独自の景観を形成しています。この特徴ある景観を守るため早くから景観条例を定め、市民との協働によるまちづくりを進めています。



「美しい日本の歴史的風土100選」に選ばれた「小樽運河及び周辺の歴史的街並み」

景観づくりの取り組み

小樽の歴史的建造物

小樽には多種多様な用途の歴史的な建物が現存します。これらは当時の最先端の技術や洗練されたデザインが施され、優れた文化遺産として高く評価されるとともに、本市の景観を形成する重要な要素となっています。本市では、保全すべき建物の中で特に重要と認めたものを「小樽市指定歴史的建造物」として指定して、保全に努めています。



小樽市指定歴史的建造物「旧小樽区公会堂」



小樽八区八景「オタルナイ湖とループ橋」

小樽八区八景

小樽では魅力あるまちづくりを進めるために、市内を八つの地区に分け、それぞれの地区を代表する景観を八つ選び出し、市内全体で64景（8地区×8景）を「小樽八区八景」として選定しています。地域の個性や魅力を知ることが景観づくりの第一歩と考え、市民の皆様にご覧いただくための、バスツアーや写真パネル展も開催しています。

小樽市都市景観賞

小樽市都市景観賞は、小樽の歴史と風土に調和した都市景観をつくり出している建築物やイベントなどを表彰するものです。都市環境の向上とまちづくりへの市民の皆様のご関心を高めていただくため、昭和63年に創設されました。皆様から応募されたものの中から、小樽らしい素敵なまちづくりに役立っていると認められたものに賞を贈呈しています。



第25回小樽市都市景観賞
左：「OMO5小樽 by 星野リゾート」
右：「住吉神社参道等の整備」